

A stylized map of Aomori Prefecture is shown in the background, rendered in a light orange color against a darker orange background. The map outlines the prefecture's coastline and major islands.

第4部

県民意識調査 結果の概要

令和4年県の施策に関する県民意識調査結果(概要)

1 調査の目的

「いわて県民計画（2019～2028）」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか、また、どの程度幸福度を感じているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内に居住する18歳以上の個人
- (2) 調査対象者数 5,000人
- (3) 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送法）
- (5) 調査時期 令和4年1～2月（毎年調査）
- (6) 調査項目
 - ア 生活全般の満足度
 - イ 「いわて県民計画(2019～2028)」の10の政策分野に関する57項目に係る重要度、満足度について
 - ウ 幸福度について
 - エ 家事時間及び生活時間について
- (7) 回収者数 3,324人
- (8) 有効回収率 66.5%
- (9) 回答者の属性

【性別】	回答者数	割合
男性	1,439	(43.3)
女性	1,868	(56.2)
その他	3	(0.1)
不明	14	(0.4)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	52	(1.6)
20～29歳	192	(5.8)
30～39歳	293	(8.8)
40～49歳	457	(13.7)
50～59歳	525	(15.8)
60～69歳	705	(21.2)
70歳以上	1,005	(30.2)
不明	95	(2.9)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	962	(28.9)
県南広域振興圏	1,002	(30.1)
沿岸広域振興圏	801	(24.1)
県北広域振興圏	559	(16.8)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	298	(9.0)
家族従業者	86	(2.6)
会社役員・団体役員	222	(6.7)
常用雇用者	890	(26.8)
臨時雇用者	430	(12.9)
学生	81	(2.4)
専業主婦（主夫）	327	(9.8)
無職	751	(22.6)
その他	100	(3.0)
不明	139	(4.2)

【子どもの数別】	回答者数	割合
1人	450	(13.5)
2人	1,171	(35.2)
3人	631	(19.0)
4人	93	(2.8)
5人以上	39	(1.2)
子どもはいない	735	(22.1)
不明	205	(6.2)

【居住年数別】	回答者数	割合
10年未満	87	(2.6)
10～20年未満	166	(5.0)
20年以上	2,958	(89.0)
不明	113	(3.4)

() 内は%

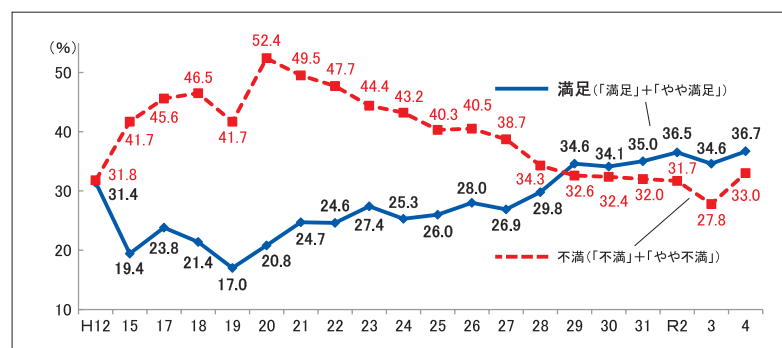
3 調査結果の概要

(1) あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

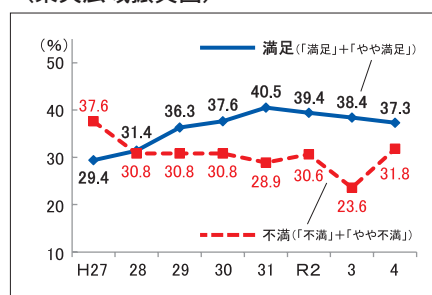
昨年に引き続き満足が不満を上回る

- 県計では、満足（「満足」＋「やや満足」）の割合が36.7%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の割合は33.0%となっている。
- また、令和3年調査と比較すると、満足の割合は34.6%から2.1ポイント増加し、不満の割合は27.8%から5.2ポイント増加している。
- 広域振興圏別にみると、満足の割合は、県央では減少し、県南、沿岸及び県北では増加している。不満の割合は、全ての広域振興圏で増加している。

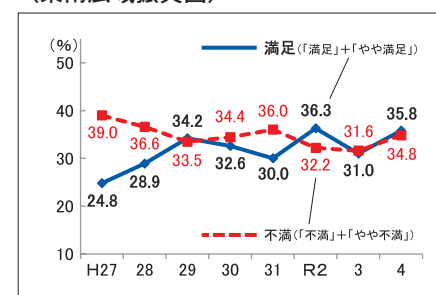
(県計)



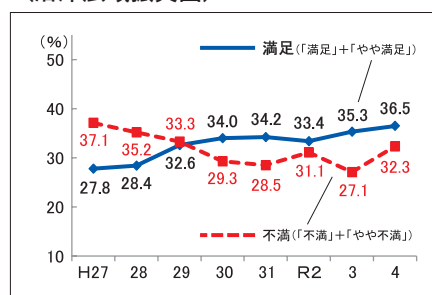
(県央広域振興圏)



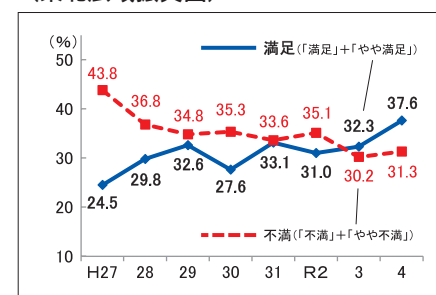
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



令和4年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

(2) あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

○重要度の高い項目は、「交通事故の少ない社会づくり」、「犯罪への不安の少ない社会づくり」、「感染症に対する備えが整っている社会」となっている。
 ○一方、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」などの項目が重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) R3年順位	10の政策分野	番号	項目
1	2	⑤	31	交通事故の少ない社会づくり
2	3	⑤	30	犯罪への不安の少ない社会づくり
3	1	⑤	34	感染症に対する備えが整っている社会
4	4	①	3	適切な医療体制
5	5	⑨	53	災害に強く安心して暮らせる県土

※1 項目は設問文を要約して記載。

重要度が低い項目

順位	(参考) R3年順位	10の政策分野	番号	項目
57	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
56	56	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組
55	55	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
54	53	①	1	身体に関する相談・指導
53	54	④	27	外国人も暮らしやすい社会

【満足度】

○満足度の高い項目は、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「購入する食品の安全性に不安を感じない社会」、「ごみ減量やリサイクルの定着」などとなっている。
 ○一方、「商店街のにぎわい」、「農林水産業の担い手確保」、「安定した就職環境」などの項目が満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) R3年順位	10の政策分野	番号	項目
1	3	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
2	1	⑤	33	購入する食品の安全性に不安を感じない社会
3	2	⑧	49	ごみ減量やリサイクルの定着
4	4	①	3	適切な医療体制
5	6	⑦	46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組

満足度が低い項目

順位	(参考) R3年順位	10の政策分野	番号	項目
57	57	⑥	36	商店街のにぎわい
56	56	⑥	42	農林水産業の担い手確保
55	55	⑥	35	安定した就職環境
54	53	④	24	公共交通機関の維持・確保
53	54	⑥	38	県内経済の活性化

【ニーズ度】

○ニーズ度の高い項目は、「安定した就職環境」、「農林水産業の担い手確保」、「商店街のにぎわい」となっている。
 ○一方、「県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍」、「日常的に文化芸術に親しむ機会」、「身近な地域でスポーツを楽しむ機会」などの項目がニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) R3年順位	10の政策分野	番号	項目
1	1	⑥	35	安定した就職環境
2	3	⑥	42	農林水産業の担い手確保
3	5	⑥	36	商店街のにぎわい
4	4	③	17	いじめや不登校への適切な対応
5	6	④	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境

ニーズ度が低い項目

順位	(参考) R3年順位	10の政策分野	番号	項目
57	53	③	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍
56	57	①	5	日常的に文化芸術に親しむ機会
55	56	①	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会
54	55	①	1	身体に関する相談・指導
53	54	⑨	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組

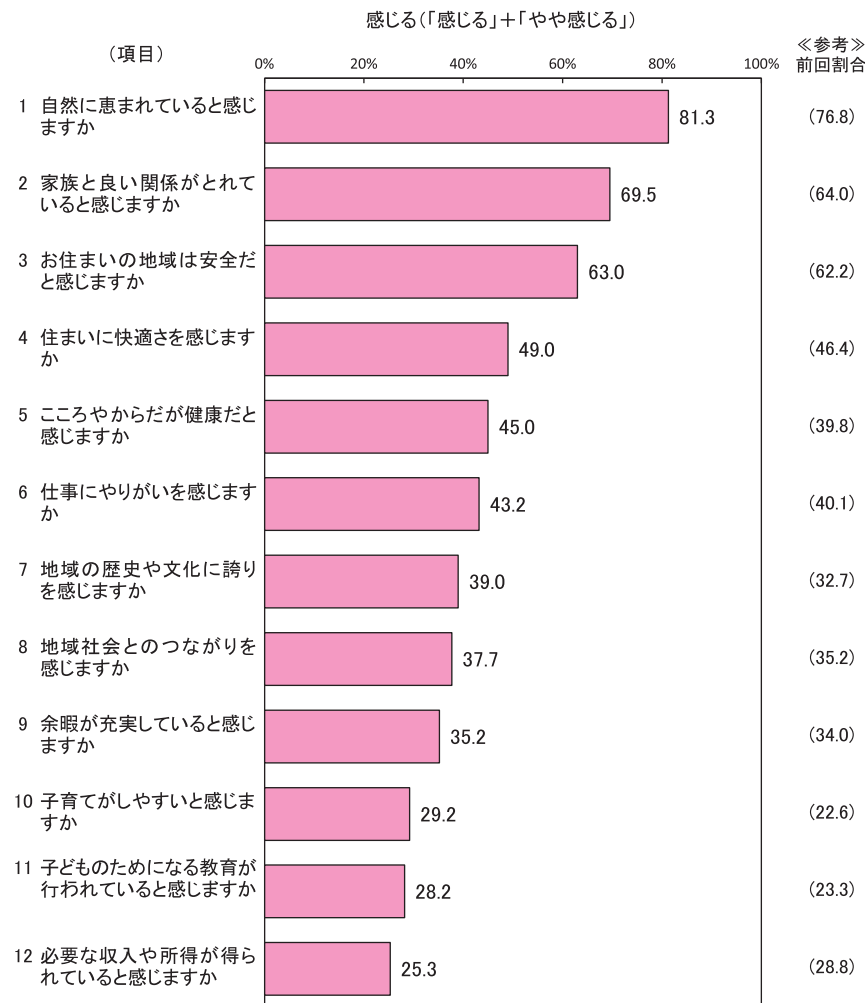
10の政策分野

- ①「健康・余暇」、②「家族・子育て」、③「教育」、④「居住環境・コミュニティ」、⑤「安全」、⑥「仕事・収入」、⑦「歴史・文化」、⑧「自然環境」、⑨「社会基盤」、⑩「参画」

(3) 県では、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

(3) - 1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

○「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の81.3%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の69.5%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の63.0%となっている。

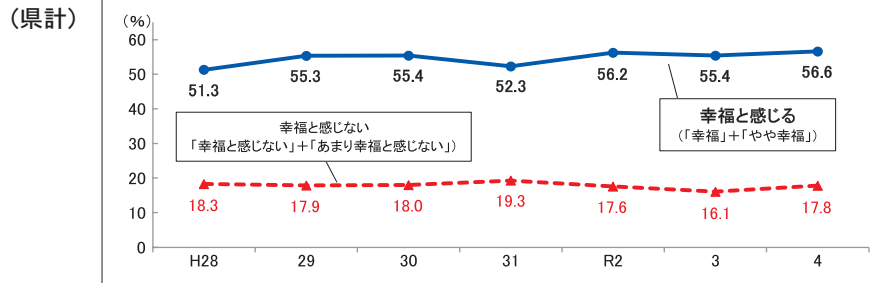


令和4年県の施策に関する県民意識調査結果（概要）

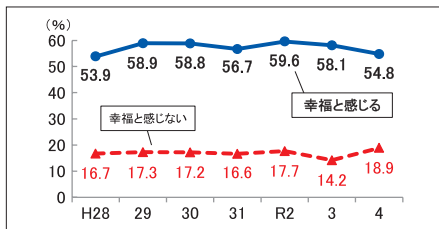
(3)ー2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

幸福と感じる割合が5割台後半、全ての広域振興圏で50%以上

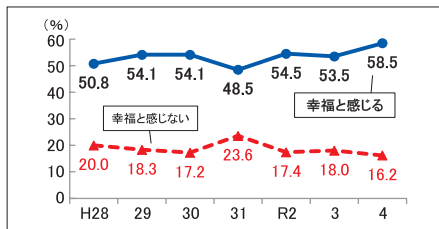
- 県計では、幸福の割合は56.6%となっており、前回と比較すると1.2ポイント増加している。
- 広域振興圏別に前回と比較すると、幸福と感じる割合は県央で減少し、県南、沿岸、県北では増加している。幸福と感じない割合は、県央及び沿岸で増加し、県南及び県北で減少している。



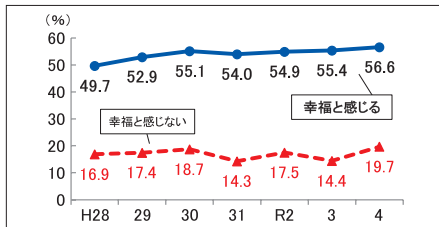
(県央広域振興圏)



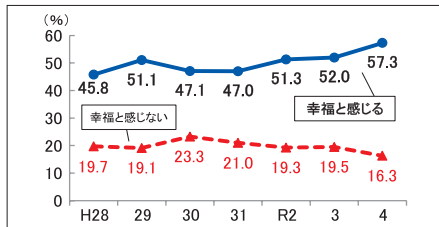
(県南広域振興圏)



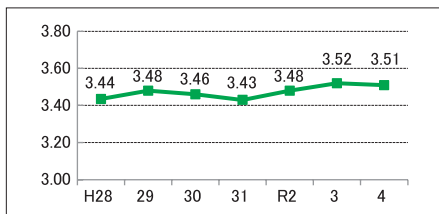
(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



【参考】 平均値(県計)の推移

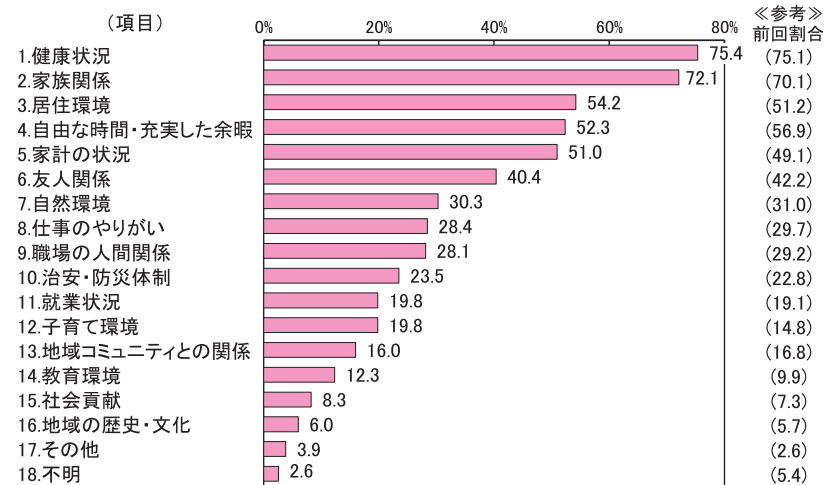


・平均値について

岩手県総合計画審議会「県民の幸福感に関する分析部会」で活用している主観的幸福感の平均値のこと。
「幸福だと感じる」から「幸福だと感じない」までの5段階の選択肢に応じて5点から1点を配点すると、県全体の平均値は5点満点中3.51点となっている。

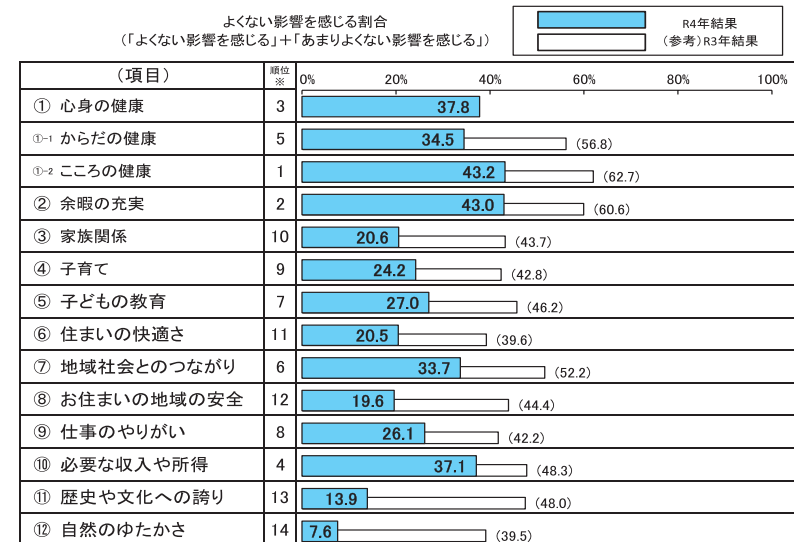
(3)ー3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の75.4%、「家族関係」の72.1%となっている。



(4) あなたは新型コロナウイルス感染症の影響についてどのように感じていますか。

○分野別実感について、よくない影響を感じる（「よくない影響を感じる」+「あまりよくない影響を感じる」）割合が高いのは、「こころの健康への影響」の43.2%、「余暇の充実への影響」の43.0%、「心身の健康への影響」の37.8%となっている。

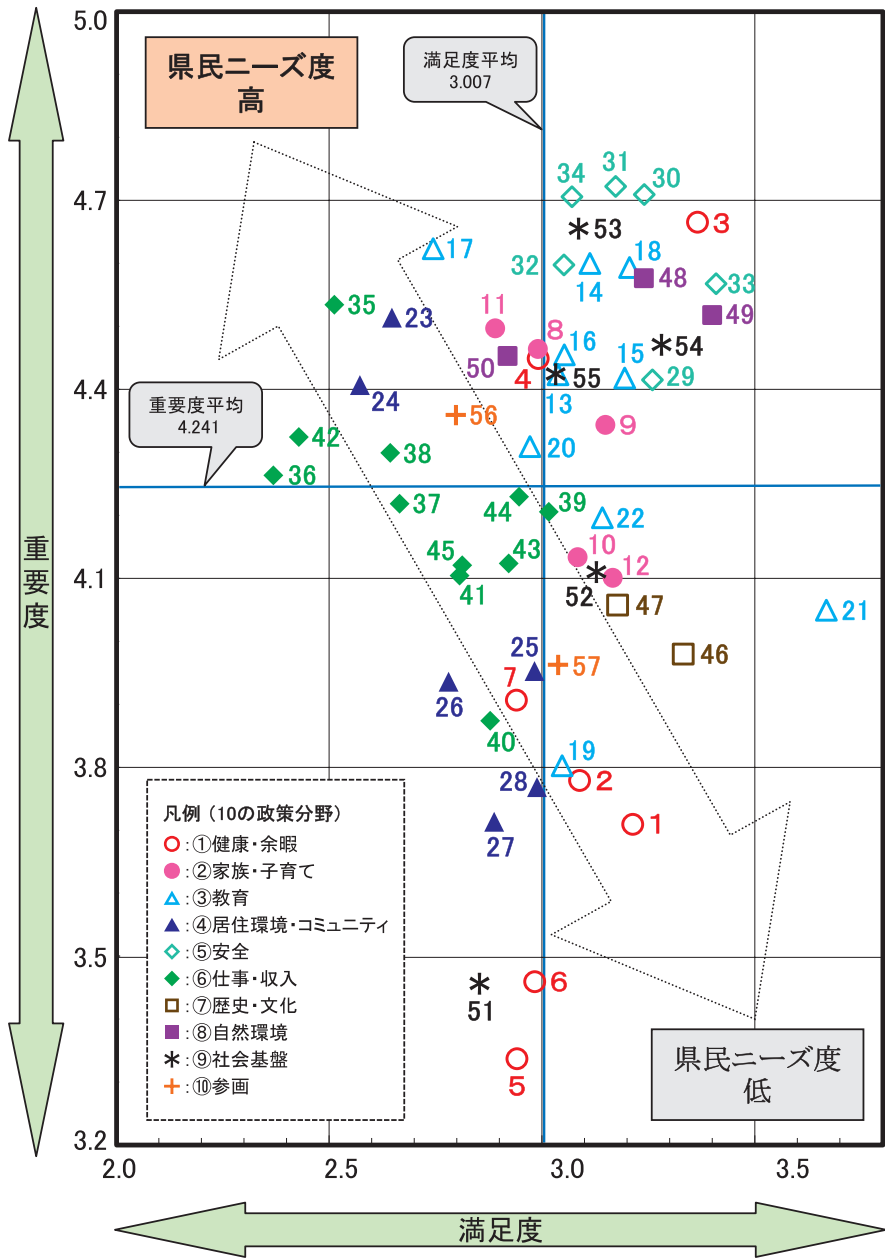


※順位は、よくない影響を感じる割合の高い順である。

【参考1】 (2)の各調査項目一覧（重要度、満足度、ニーズ度得点）

10の政策分野	No.	項目	重要度	順位	満足度	順位	ニーズ度	順位
①健康・余暇	1	身体の健康に関する相談・指導	3.711	54	3.214	10	0.497	54
	2	心の健康に関する相談・支援	3.781	51	3.089	20	0.692	51
	3	適切な医療体制	4.668	4	3.366	4	1.301	27
	4	住み慣れた地域で生活できる環境	4.451	20	2.996	31	1.455	19
	5	日常的に文化芸術に親しむ機会	3.338	57	2.943	38	0.395	56
	6	身近な地域でスポーツを楽しむ機会	3.460	55	2.983	35	0.477	55
	7	自分に適した内容や方法で学べる環境	3.908	48	2.943	39	0.965	44
②家族・子育て	8	安心な子育て環境整備	4.467	17	2.991	32	1.476	17
	9	子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携	4.346	27	3.148	16	1.198	32
③教育	10	地域全体での青少年の健全育成	4.135	36	3.086	22	1.050	40
	11	仕事と生活を両立できる環境	4.499	15	2.891	42	1.608	9
	12	ペットなど動物のいのちを大切にできる社会	4.102	41	3.169	15	0.933	45
	13	子どもの学力向上に向けた教育	4.425	22	3.042	27	1.383	23
	14	人間性豊かな子どもの育成	4.602	7	3.114	19	1.489	16
④居住環境・コミュニティ	15	子どもの体力向上や心身の健康保持	4.420	23	3.196	12	1.224	30
	16	全ての子どもが学べる環境	4.457	18	3.054	24	1.403	20
	17	いじめや不登校への適切な対処	4.626	6	2.746	50	1.880	4
	18	子どもが安全・安心に学ぶことができる環境	4.596	9	3.207	11	1.389	22
	19	特色ある私学教育の充実	3.804	50	3.049	26	0.755	50
	20	次世代を担う人材育成	4.311	29	2.973	36	1.338	25
	21	県ゆかりの芸術家やスポーツ選手の活躍	4.051	43	3.669	1	0.382	57
	22	大学の地域社会貢献	4.198	35	3.143	17	1.055	39
	23	生活基盤整備などが進んだ生活環境	4.516	14	2.647	52	1.869	5
	24	公共交通機関の維持・確保	4.409	25	2.575	54	1.834	6
⑤安全	25	つながりや活力を感じられる地域コミュニティ	3.954	46	2.984	34	0.970	43
	26	移住・定住を増やすための取組	3.937	47	2.783	49	1.155	37
	27	外国人も暮らしやすい社会	3.715	53	2.888	43	0.827	48
	28	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり	3.770	52	2.988	33	0.782	49
	29	地域の協力による防災体制づくり	4.417	24	3.260	7	1.157	36
⑥仕事・収入	30	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.712	2	3.241	8	1.471	18
	31	交通事故の少ない社会づくり	4.725	1	3.173	14	1.552	13
	32	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.600	8	3.052	25	1.548	14
	33	購入する食品の安全性に不安を感じない環境	4.570	11	3.410	2	1.160	35
	34	感染症に対する備えが整っている社会	4.709	3	3.071	23	1.637	8
	35	安定した就職環境	4.537	12	2.513	55	2.024	1
	36	商店街のにぎわい	4.266	31	2.370	57	1.896	3
	37	中小企業の成長・発展	4.220	33	2.667	51	1.553	12
	38	県内経済の活性化	4.301	30	2.644	53	1.657	7
	39	地域資源を活用した製品開発・販売	4.207	34	3.016	30	1.191	33
⑦歴史・文化	40	海外での県産品の販路拡大	3.875	49	2.880	44	0.995	41
	41	魅力ある観光地づくり	4.106	40	2.806	47	1.300	28
	42	農林水産業の担い手確保	4.326	28	2.429	56	1.897	2
	43	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.125	37	2.922	40	1.203	31
	44	農林水産物の販路拡大	4.232	32	2.946	37	1.286	29
	45	活力ある農山漁村の形成	4.122	38	2.813	46	1.309	26
	46	世界遺産を守り将来に伝えていくための取組	3.981	44	3.335	5	0.646	52
⑧自然環境	47	郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境	4.059	42	3.179	13	0.880	47
	48	自然環境を大切に生活	4.579	10	3.240	9	1.339	24
	49	ごみ減量やリサイクルの定着	4.520	13	3.402	3	1.119	38
	50	温暖化防止の取組	4.455	19	2.917	41	1.538	15
	51	外国人研究者等の受入環境整備や新たな産業振興への取組	3.457	56	2.855	45	0.603	53
⑨社会基盤	52	情報通信技術の活用	4.112	39	3.128	18	0.984	42
	53	災害に強く安心して暮らせる県土	4.658	5	3.088	21	1.569	10
	54	交通や物流の拠点に通じる道路整備	4.472	16	3.283	6	1.189	34
	55	社会資本の維持管理	4.426	21	3.033	29	1.393	21
	56	個性と能力を発揮できる社会の実現	4.361	26	2.799	48	1.562	11
⑩参画	57	市民活動や県民活動に参加しやすい社会	3.964	45	3.041	28	0.923	46
平均			4.241		3.007		1.235	

【参考2】 (2)の項目別の重要度と満足度の関係



※1 ——— は各項目の平均値（重要度：4.241、満足度：3.007）
 ※2 上の図内の番号は、前頁の表の調査項目番号と一致。

注）重要度（平均）、満足度（平均）は、時系列で平均の差を検定していくため、標本平均を採用しています。

【用語の説明】

重要度（平均）：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。

満足度（平均）：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明（無回答）」を除く。）で除し、数値化したもの。

ニーズ度（平均）：重要度（平均）－満足度（平均）
 （重要度が高く、住民の満足度が低い状態を（行政）ニーズが高いと読む）